

描かれた 江戸の商人

貨幣博物館（日本銀行金融研究所）（日本銀行分館内） 24. 11. 08～25. 02. 02



「販促ツールと商い」の秘訣は、貨幣博物館がある江戸・日本橋をはじめ、都市では古くより商人らによってさまざまな販売方法や流通の仕組みが編み出されてきて、多様な宣伝方法によって人気のある店や商人に関する情報が溢れて、日々活発な売買が繰り返されていた。本企画展では、江戸～明治時代に活躍した商人に焦点をあて、「貨幣博物館」所蔵の浮世絵や双六などの絵画資料から商いの様子が紹介されている。

また、当時使われていた商家の看板や商人たちが販売スタイルに合わせて使い分けていた数々の道具類が初めて公開され、さらに江戸時代に商売の販促ツールとして使われていた「出版物—引札（広告）—など」も紹介されている。

商いが大きく発展した江戸時代、商売に関わる人々が効果的な販売促進のために重ねた工夫から、現在にも繋がる「商いの秘訣」を眺めることができる。



人気絵師が描いた賑わう店先 岩城升屋（初代歌川広重「岩城升屋店先之図」）



日本橋の薬屋（歌川芳玉「江戸出店図」）

薬屋の引札（「信州東山堂看板之略図」）



左図

右図